

平成 15～17 年度
班会議プログラム

厚労省医療技術評価総合研究事業 テレパソロジー研究班
平成 15 年度第 1 回班会議プログラム

期 日：平成 15 年 9 月 29 日（月）13：00－16：00

場 所：慶應義塾大学医学部 中央棟 5F カンファレンスルーム

- 13：00 開会挨拶 班長 澤井 高志
厚労省医政局研究開発振興課医療技術情報推進室 武末 文男室長補佐
- 13：20 今年度の活動方針
- ＜総合＞ 澤井 高志（岩手医科大学医学部病理学第一講座） (15分)
- ＜経済効果 他＞ 「胸腔鏡下手術と迅速診断の経済効果」
谷田 達男（岩手医科大学医学部外科学第三講座） (10分)
- 「遠隔医療の経済性検討方法の提案」
長谷川高志（セコム株式会社 IS 研究所） (10分)
- ＜関連機器の開発＞ 「受信画像及び読図結果の評価方法：3D 方式の提案」
一迫 玲（東北大学大学院歯学研究科口腔病理学分野） (10分)
- 「テレパソロジーとモバイル環境の現状」
佐藤 義孝（NTT-ME コンサルティング） (10分)
- 「標本全面の画像化とバーチャルマイクロスコープの開発」
安田 伸宏（放射線医学総合研究所） (10分)
- ＜標準化問題＞ 「テレパソロジーの標準化－現状と課題－」
東福寺幾夫（オリンパス光学工業株式会社） (10分)
- 14：35 各活動分担内容のお願い／総合討論 司会：澤井 高志
- 15：55 閉会挨拶 慶應義塾大学第三外科 小林 紘一

厚労省医療技術評価総合研究事業 テレパソロジー研究班
平成 15 年度第 2 回班会議プログラム

11:30 開場

12:15 開会挨拶

厚労省医政局研究開発振興課医療技術情報推進室

班長 澤井高志
高本和彦室長補佐

12:30 今年度の研究成果発表

【VATS を利用した肺癌手術について (12:30-13:30)】

座長：谷田達男

「我が国における最近の肺癌の傾向」

小林紘一 (慶應義塾大学呼吸器外科)

「VATS の経済効果－臨床の視点から－」

谷田達男 (岩手医科大学医学部呼吸器外科)

南方良章・一ノ瀬正和 (和歌山県立医大第三内科)

薄田勝男 (富山医科薬科大学光学医療診療部)

佐川元保 (金沢医科大学呼吸器外科)

小林紘一 (慶應義塾大学呼吸器外科)

「肺疾患をモデルとした遠隔病理診断が医療の質・経済性向上に果たす役割」

古谷敬三 (愛媛県立中央病院病理部)

「遠隔医療の経済性検討方法の研究－VATS＋テレパソロジーの経済性研究、中間報告－」

長谷川高志 (セコム株式会社 IS 研究所)

【「P to P」の報告と応用 (13:30-14:30)】

座長：澤井高志

「インターネットシステムを利用して個人間で行うテレパソロジーシステム『P to P』の開発と検証」

澤井高志 (岩手医科大学病理学第一講座)

渡辺みか (東北大学医学部附属病院病理部)

宇月美和 (岩手医科大学病理学第一講座)

「受診画像・読図結果の評価方法－返信用紙の作成－」

一迫 玲（東北大学歯学部口腔病理）

「『P to P』を利用した肺癌診断の精度管理について」

黒瀬 顕（岩手医科大学病理学第一講座）

一迫 玲（東北大学歯学部口腔病理）

猪山賢一（熊本大学医学部附属病院病理部）

大城真理子（沖縄県立北部病院）

土橋康成（(財) ルイ・パストゥール医学研究センター）

古谷敬三（愛媛県立中央病院病理部）

「デジタルマイクロスコープ "COOLSCOPE" のインターネット利用」

秋山広治（株式会社ニコンインステック 第一営業部営業課）

----- 休 憩（10分） -----

【テレパソロジーの応用・標準化とセキュリティの問題（14：40-15：55）】

座長：井藤久雄

「テレパソロジーの経験」

井藤久雄（鳥取大学医学部第一病理）

「細胞診遠隔診断（テレサイトロジー）の現状評価、課題と将来展望」

土橋康成（(財) ルイ・パストゥール医学研究センター）

「岩手県における遠隔病理診断業務の実状と臨床研修医制度での病理研修への取組みについて」

佐藤 孝（岩手医科大学病理学第二講座）

「テレパソロジー技術標準化調査結果報告」

東福寺幾夫（オリンパス株式会社）

「テレパソロジーにおけるセキュリティについて」

山田恒夫（財団法人 医療情報システム開発センター）

【テレパソロジーに関連した新しい開発（15：55-16：55）】

座長：土橋康成

「ユビキタス社会でのテレパソロジー」

佐藤義孝（株式会社 NTT-ME コンサルティング）

「データベース連動型遠隔病理診断支援システム」

杉森 弘、高松輝賢（株式会社ダイレクトコミュニケーションズ）

「標本全面の画像化とバーチャルマイクロスコープの開発」

安田仲宏（放射線医学総合研究所）

「CSは新たなステージへ」

原田 豊（エプソン販売株式会社）

16:55 閉会の辞

小林紘一（慶應義塾大学呼吸器外科）

厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業
「医療効果・経済効果を目的とした遠隔病理診断の実用化と
これに関する次世代機器の調査・開発」研究班
(略称；テレパソロジー研究班)

平成 16 年第 1 回班会議プログラム

班長：澤井 高志（岩手医科大学第一病理）

平成 16 年 9 月 10 日（金）
会場：アルカディア市ヶ谷

13:00 開会挨拶・今年度の活動方針 班長 澤井 高志

13:05 今年度の活動方針（分担研究者・協力者）

- 1) VATS の医療効果（臨床）
谷田 達男（岩手医科大学医学部呼吸器外科） (8分)
- 2) VATS の医療効果（病理）
古谷 敬三（愛媛県立中央病院病理部） (8分)
- 3) 遠隔医療の経済性検討方法の提案（第二年目研究方針）
長谷川高志（東北大学先進医工学研究機構） (8分)
- 4) 『P to P』の実証実験
黒瀬 顕（岩手医科大学医学部病理学第一講座） (8分)
- 5) 『P to P』テレパソロジーソフト実証実験
猪山 賢一（熊本大学大学院医歯薬学研究科病理部） (8分)
- 6) 『P to P』新規ソフト作製への関与、及び『P to P』（非添付式）を
含む悪性リンパ腫の総合診断におけるテレパソロジーシステムの構築
一迫 玲（東北大学大学院歯学研究科口腔病理学分野） (8分)
- 7) テレパソロジーの移植医療への応用
井藤 久雄（鳥取大学医学部病理学第一講座） (8分)
- 8) テレサイトロジーの実用化と問題点
土橋 康成（財団法人 ルイ・パストゥール医学研究センター） (8分)
- 9) 沖縄病理ネットワーク構想
吉見 直己（琉球大学医学部病理学第一講座） (8分)

-----休憩（10分）-----

- 14:30
- 10) テレサイトロジーが必要な背景について
山城 勝重（独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター臨床検査科） (8分)
 - 11) テレパソロジーを用いた血液疾患への画像伝送
石田 陽治（岩手医科大学医学部附属病院血液内科） (8分)
 - 12) テレパソロジーの料金体系
渡辺 みか（東北大学医学部附属病院病理部） (8分)
 - 13) 光ファイバーを利用した動画方式のテレパソロジー
熊谷 一広（株式会社 南部医理科） (8分)
 - 14) Web 方式による遠隔医療の推進・セキュリティーの問題
斉藤 健司（岩手医科大学総合情報センター） (8分)
 - 15) 遠隔医療とバーチャルスライド
中里 適（株式会社 オリンパスエンジニアリング） (8分)
 - 16) バーチャルスライドシステムについて
秋山 広治（株式会社 ニコンインステック） (8分)
 - 17) バーチャルスライドの実用化へ向けて

梅島 洋介 (セイコープレシジョン株式会社) (8分)
安田 仲宏 (放射線医学総合研究所)

18) テレパソロジーの意識調査
東福寺幾夫 (高崎健康福祉大学健康福祉学部医療福祉情報学科) (8分)

19) 最近のセキュリティーの動向
山田 恒夫 (財団法人 医療情報システム開発センター) (8分)

16:00 終了

厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業

「医療効果・経済効果を目的とした遠隔病理診断の実用化と
これに関する次世代機器の調査・開発」研究班
(略称：厚労省テレパソロジー研究班)

平成16年度第2回班会議プログラム

班長：澤井 高志 (岩手医科大学病理学第一講座)

平成17年1月28日 (金)

午後1時30分～午後5時30分 (午後1時開場)

会場：新宿モノリスビル3F M313 (プレゼンテーションルーム)
東京都新宿区西新宿2丁目3-1 TEL 03-3340-2111 (代表)

13 : 00 開場

13 : 30 開会挨拶

班長 澤井高志
厚労省医政局研究開発振興課医療技術情報推進室 室長 新村和哉

13 : 45 今年度の研究成果発表

【社会におけるテレパソロジーおよび医療情報について】座長：東福寺幾夫（13 : 45-14 : 45）

「一般市民のテレパソロジーに関する意識調査」

東福寺幾夫（高崎健康福祉大学健康福祉学部医療福祉情報学科）

渡辺みか（東北大学医学部附属病院病理部）

土橋康成（（財）ルイ・パストゥール医学研究センター臨床病理研究部）

「顕微鏡画像の分解能に関する調査」

東福寺幾夫（高崎健康福祉大学健康福祉学部医療福祉情報学科）

「呼吸器外科分野でのテレパソロジーの問題点」

谷田達男（岩手医科大学医学部呼吸器外科）

小林紘一（慶應義塾大学医学部外科）

一ノ瀬正和、南方良章（和歌山県立医科大学第三内科）

佐川元保（金沢医科大学呼吸器外科）

薄田勝男（富山医科薬科大学光学医療診療部）

「遠隔医療の経済性検討方法の研究」

長谷川高志（東北大学先進医工学研究機構）

「テレパソロジーの料金設定について・保険診療と混合医療の可能性」

渡辺みか（東北大学医学部附属病院病理部）

「沖縄地域におけるテレパソロジーの現状と問題点」

吉見直己（琉球大学医学部病態解析医科学講座腫瘍病理学）

菅野好史（（株）NTTデータ医療福祉システム事業部）

【医療におけるテレパソロジーの利用拡大】 座長：黒瀬 顕（14 : 45-15 : 25）

「テレサイトロジーが必要な背景について」

山城勝重（国立病院機構北海道がんセンター 臨床検査科）

「血液疾患におけるテレパソロジーの試み」

石田陽治、村井一範（岩手医科大学医学部附属病院血液内科）

清野耕治、水野紹夫、山内文俊（恵仁会 三愛病院）

「テレパソロジーの移植医療への応用」

井藤久雄（鳥取大学医学部病理学第一講座）

「一般病院群におけるテレパソロジーの運用状況」

古谷敬三（愛媛県立中央病院病理）

-----休憩（10分）-----

【テレパソロジー 新しい分野への挑戦】

座長：澤井高志（15：35-16：05）

「『P to P』の開発成果」

黒瀬 顕（岩手医科大学医学部病理学第一講座）

一迫 玲（東北大学大学院歯学研究科口腔病理学分野）

猪山賢一（熊本大学医学部附属病院病理部）

「インターネット依存・センター方式新標準化テレパソロジーシステムの実験結果報告」

土橋康成（（財）ルイ・パストゥール医学研究センター臨床病理研究部）

「光ファイバーによる動画実験の報告」

熊谷一広（（株）南部医理科）

松村伊知郎（NTTレゾナント（株））

野田 裕（仙台オープン病院消化器内科）

澤井高志（岩手医科大学医学部病理学第一講座）

【その他および画像への挑戦】

座長：吉見直己（16：05-16：45）

「3次元情報を有するバーチャルスライドの開発」

安田仲宏（放射線医学総合研究所）

稲垣伸介（松戸メディカルラボラトリ）

梅島洋介、本間義浩（セイコープレシジョン（株））

石井 均（（株）ケーアイテクノロジー）

「バーチャルスライドの現状」

高松輝賢、熊谷久義、鄭 衆喜 ((株) ダイレクトコミュニケーションズ)

佐藤達資、三浦富智、野坂大喜 (弘前大学医学部保健学科)

川口順三 (カールツァイス (株))

「テレパソロジーにおけるセキュリティのありかた」

山田恒夫 ((財) 医療情報システム開発センター)

「地域医療とネットワーク形成、セキュリティの問題」

千葉 岳、高橋友樹、斉藤健司、澤井高志 (岩手医科大学総合情報センター)

【メーカーにみる医療情報への挑戦】

座長：土橋康成 (16：45-17：15)

「遠隔医療とバーチャルスライド」

中里 適 ((株) オリンパスエンジニアリング)

「テレパソロジーとバーチャルスライド」

～デジタルマイクロスコープ Coolscope を用いたバーチャルスライドの作成～

園田晴久 ((株) コーガク第一営業本部 第一部)

秋山広治、野首 潤、西田裕志 ((株) ニコンインステック)

鈴木昭俊 ((株) ニコン)

「任意のルータ間で簡易に VPN を開設するオンデマンド VPN サービスについて」

菅野好史 ((株) NTTデータ医療福祉 BU)

17：15 閉会挨拶

班長 澤井高志

厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業

「医療効果・経済効果を目的とした遠隔病理診断の実用化と
これに関する次世代機器の調査・開発」研究班
(略称：厚労省テレパソロジー研究班)

平成17年度第1回班会議プログラム

班長：澤井 高志（岩手医科大学病理学第一講座）

平成17年9月6日（火）

午後1時～午後4時30分（午後12時30分開場）

会場：新宿モノリスビル3F M313（プレゼンテーションルーム）
東京都新宿区西新宿2丁目3-1 TEL 03-3340-2111（代表）

12:30 開場

13:00 開会挨拶

班長 澤井高志
厚労省医政局研究開発振興課医療技術情報推進室 室長 千村 浩様
国際医療福祉大学大学院 院長 開原成允先生

13:20 今年度の活動計画

【テレパソロジーシステムの開発】(13:20-14:30)

「光ファイバーを用いた動画によるテレパソロジー実験」

野田 裕 (仙台市医療センター 仙台オープン病院消化器内科)

澤井高志 (岩手医科大学医学部病理学第一講座)

熊谷一広 (株式会社南部医理科 バイオ関連事業部)

松村伊知郎 (NTT レゾナント株式会社 コミュニケーション事業部)

「『P to P』方式による e-mail での病理医間ネットワークの形成」

猪山賢一 (熊本大学附属病院病理部)

森谷卓也 (東北大学医学部附属病院病理部)

一迫 玲 (東北大学大学院医学系研究科血液病理学)

大城真理子 (沖縄県立北部病院病理科)

井手祐二 (ピクセラコーポレーション)

「3次元断層画像を用いたバーチャル顕微鏡の構築」

石井 均 ((株) ケーアイテクノロジー)

稲垣伸介 (松戸メディカルラボラトリ)

安田仲宏 (放射線医学総合研究所)

本間義浩、梅島洋介 (セイコープレジジョン (株))

「TPG平成17年度研究計画」

古谷 敬三 (愛媛県立中央病院病理)

「ストレージの技術動向」

林 直人 (NHK 放送技術研究所 放送デバイス)

「医療現場におけるモバイルソリューション」

佐藤一夫 (NTT ドコモ法人営業本部第一システム事業部)

-----休憩 (10分) -----

【テレパソロジーの応用拡大】 (14 : 40-15 : 50)

「移植病理におけるテレパソロジーの役割」

井藤久雄、庄盛浩平、安達博信（鳥取大学医学部基盤病態医学講座器官病理学）

「岩手県血液ネットワークの構築」

石田陽治、村井一範、菅原 健、小宅達郎、小和田周吾（岩手医科大学血液内科）

「乳腺疾患に対するテレパソロジー：病理医間コンサルテーションの実情」

森谷卓也、渡辺みか、遠藤希之（東北大学医学部附属病院病理部）

「前立腺生検とテレパソロジー」

白石泰三（三重大学医学研究科腫瘍病態解明学講座）

「組織バンク、疾病登録におけるバーチャルスライド」

飯塚徳重、星田義彦、青笹克之（大阪大学大学院医学系研究科病態病理学）

「琉大病理部臨床実習における遠隔病理実習への応用」

吉見直己、中山 崇（琉球大学医学部腫瘍病理学・病理部）

大城真理子（沖縄県立北部病院病理科）

「遠隔医療モデルの実証的検証 テレパソロジーシステムの教育への利用」

谷田達男（岩手医科大学附属病院卒後臨床研修センター・総合情報センター・
医学部呼吸器外科）

阿部 正、下沖 収（岩手県立久慈病院）

澤井高志（岩手医科大学医学部病理学第一講座）

【その他】 (15 : 50-16 : 20)

「テレパソロジーのガイドラインについて」

土橋康成（(財) ルイ・パストゥール医学研究センター）

「遠隔医療の保険請求に関する検討VATS+テレパソロジーのコストと請求の課題」

長谷川高志（東北大学先進医工学研究機構）

「テレパソロジーの申請から見た保険点数について」

佐々木 毅（横浜市立大学附属市民総合医療センター病理部）

16 : 25 閉会挨拶

班長 澤井高志

抄録発表

1. 遠隔医療支援のための CMS ポータルの試作
齊藤健司 (岩手医科大学総合情報センター)
2. 汎用性あるテレパソロジーシステムの構築
園田晴久 ((株) コーガク)
3. テレパソロジーのアンケート調査について
東福寺幾夫 (高崎健康福祉大学健康福祉学部医療福祉情報学科)
4. 北陸における遠隔医療病理診断 (テレパソロジー) の現状
原田憲一 (金沢大学形態機能病理学)
5. テレサイトロジーをめぐる諸問題の解決に向けて
山城勝重 (北海道がんセンター臨床研究部)
6. 平成17年度厚労省テレパソロジー研究班分担研究計画
渡辺みか (東北大学附属病院病理部)

厚生労働科学研究費補助金 医療技術評価総合研究事業

「医療効果・経済効果を目的とした遠隔病理診断の実用化と
これに関する次世代機器の調査・開発」研究班
(略称：厚労省テレパソロジー研究班)

平成17年度第2回班会議プログラム

班長：澤井 高志（岩手医科大学病理学第一講座）

平成18年1月27日（金） 午後1時30分～午後6時10分（午後1時開場）

平成18年1月28日（土） 午前9時～午後12時20分（午前8時30分開場）

会場：株式会社NTTデータ

東京都江東区豊洲3-3-3 豊洲センタービル36F 電話：03-5546-8202

第1日目 1月27日(金)

13:00 開場

13:30 開会挨拶

班長 澤井高志

厚労省医政局研究開発振興課医療技術情報推進室 室長 千村 浩様

13:40 今年度の研究成果発表

【テレパソロジーシステムの現状と医療効果・経済効果】(13:40-14:40)

「わが国のテレパソロジーの現状と課題」

東福寺幾夫(高崎健康福祉大学健康福祉学部医療福祉情報学科)

「テレパソロジーの医療効果・経済効果」

谷田 達男(岩手医科大学医科卒後臨床研修センター)

「呼吸器外科領域における遠隔迅速病理診断の可能性」

江口 圭介、小林 紘一(慶應義塾大学医学部呼吸器外科)

「遠隔医療の経済性の検討」

長谷川高志(東北大学先進医工学研究機構)

【テレパソロジーシステムの新しい開発とその応用】(14:40-16:50)

「光ファイバー動画テレパソロジーによる術中迅速病理診断」

野田 裕(仙台市医療センター 仙台オープン病院消化器内科)

「テレパソロジー機器に関する新しいシステムの開発」

安田 仲宏(放射線医学総合研究所)

「光ファイバーを利用したテレパソロジー」

古谷 敬三(愛媛県立中央病院病理)

-----休憩(10分)-----

「光ファイバーによるweb形式でのバーチャルスライドの評価」

村上 一宏(東北厚生年金病院病理科)

「テレパソロジー受信画像でおこなった画像解析」

宇月 美和（岩手医科大学病理学第一講座）

「インターネットを活用した遠隔診療支援システムの開発方法について」

斉藤 健司、千葉 岳（岩手医科大学総合情報センター）

「高精細大容量画像の保存」

林 直人（NHK 放送技術研究所 放送デバイス）

「セキュアネットワーク基盤のテレパソでの活用について」

菅野 好史（株式会社NTT データ）

【テレパソロジーの応用拡大】（16：50-18：05）

「移植病理におけるテレパソロジー」

井藤 久雄（鳥取大学医学部基盤病態医学講座器官病理学分野）

「テレサイトロジー普及のための課題」

山城 勝重（北海道がんセンター臨床研究部）

「組織バンク、疾病登録におけるバーチャルスライド」

飯塚 徳重（大阪大学大学院医学系研究科病態病理学）

「ブロードバンド対応のテレパソロジーシステム」

中里 適（株式会社オリンパスエンジニアリング）

「テレパソロジーにおけるセキュリティについて」

山田 恒夫（財団法人医療情報システム開発センター）

18：15 懇親会

第2日目 1月28日(土)

8:30 開場

【テレパソロジーの応用と実績】(9:00-10:45)

「テレパソロジーの申請から見た診療報酬について」

佐々木 毅 (横浜市立大学附属市民総合医療センター病理部)

「『P to P』方式によるe-mailでの

病理医-病理医間、病理医-細胞検査士間ネットワークの構築」

猪山 賢一 (熊本大学附属病院病理部)

「東北大学病院病理部の実績を通じたテレパソロジーの現状の解析」

渡辺 みか (東北大学病院病理部)

「前立腺生検とテレパソロジー」

白石 泰三 (三重大学医学研究科腫瘍病態解明学講座)

「岩手県血液ネットワークの構築」

石田 陽治 (岩手医科大学血液内科)

「沖縄地域におけるテレパソロジー」

吉見 直己 (琉球大学医学部腫瘍病理学)、中山 崇 (同 附属病院病理部)

「北陸における遠隔医療病理診断(テレパソロジー)の現状」

原田 憲一 (金沢大学大学院形態機能病理学)

-----休憩(10分)-----

【テレパソロジーシステムの制度と新しい応用】(10:55-12:10)

「テレパソロジーガイドラインの作成と地域医療支援ブロードバンドテレパソロジー」

土橋 康成 ((財)ルイ・パストゥール医学研究センター)

「テレパソロジーと認証」

菊田 昌弘 (株式会社日本電子公証機構)